

あいさつ運動の好事例

岡山市立御野小学校
(児童602名 教職員51名)

フルパワーキャッチボール～5年生の取り組みを通して～

【アピールポイント】

自分のクラスはもちろん、校舎内を「あいさつ部隊」が歩いてあいさつをします。あいさつをする時には、礼をして声をそろえて言います。声も大声を張り上げるのではなく、相手に届ける気持ちのよい声で行っています。友達が来たら自然に笑顔になります。まさに、学校目標にある「笑顔学校」です。



まずは、自分たちのクラスからあいさつを！
笑顔がはじけます。少しはずかしがる人も。

実行委員のみなさん、
おはようございます。

おはようございます！

ダンボールでつくった看板ぶらさげて、『あいさつ運動実施中！』のお知らせ。
あいさつをされた各学年の人も、教室からあいさつを返しています。

おはようございます！



【始まったいきさつ】

本校では、スリーA（安全・あいさつ・後始末）を掲げて全校で取り組んでいます。高学年の仲間入りをした5年生には、学年開きの際、「学校のために動くということは、学校を自分たちの力で変えていけるということだよ。」という話をしています。学年目標が『挑戦』ということもあり、「スリーAで学校を変えてみることに挑戦してみませんか」と投げかけてみました。ほとんどの児童が目をキラキラさせていました。そこで、一学期より3つの実行委員（安全・あいさつ・後始末）を立ち上げ、「あいさつ実行委員会」を中心に、何をどうやって行うかの話し合いを、休み時間を使って何度も行いました。ポスターを描いたり、呼びかけたりするを行いました。いい効果が表れないまま二学期になりました。二学期に入って、「あいさつをしながら校内を歩こう。」という提案があり、校舎内を歩くあいさつ運動が始まりました。

【実践実態】

始まったあいさつは大声で、決して気持ちのよいあいさつとは言えませんでした。

そこで、①他の先生方からのアドバイスをいただいたり、

②再び話し合いを繰り返したりしていく中で、

自分たちでどんなあいさつをしたら良いのかを考え、

「大声ではなく、相手に聞きやすい声で言うことがいいのではないか。」

と気づき、実践を続けました。

【成果と現状】

するからにはあいさつを返してほしい。

「よりあいさつが返ってくるようにするには？」「あいさつが活性化するには？」

① 礼をする ② 学級の名前を呼ぶ ③ 繰り返す

という話し合いの結果のもと、現在も取組実践中です。今では、廊下や教室であいさつが響いています。友達が頑張っているから自分も頑張る姿や、遅れをとった児童も「僕も入れて～」と言いながら参加する姿が見られ意欲的に活動しています。

まだまだこれからも、さらなるあいさつの発展にむけて、これからも話し合いを繰り返し、そして実践し、フルパワーで全校とあいさつのキャッチボールを行っていきたいと思います。